



ロシアのウクライナ侵攻について



議会決議

3月7日、新潟県議会では緊急本会議を開会し、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、即時に武力行使を停止し、軍をロシア国内に撤収するなど世界平和の実現に向けた対応を強く求め『ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議』を全会一致で可決いたしました。

『リベラル新潟』として申し入れ

県内にロシア総領事館もあり、ロシアとの交流のある新潟県として

1. 「困窮するウクライナに寄り添い、県民が世界平和を願うこと」を目的に、県の関連施設をウクライナの国旗の色である青と黄にライトアップすること。
2. ウクライナからの避難民の受け入れについて、新潟県として表明すること。

厚生環境常任委員会 (R4年3月7日～11日) 小泉 勝の主な質問から

【防災局 R4年3月8日】

質問 小泉

昨年来、北朝鮮が頻繁に弾道ミサイルを発射し、ことしに入ってから9回を数える。2月には、ロシア軍がウクライナ領土へ侵攻するなど、国際的な緊張が高まっている。ウクライナの原因が砲撃されたことで、柏崎刈羽原発がある新潟県としても、決して他人事ではない。国民保護等に係る県の取組状況を伺う。

答弁 危機対策課長

国や関係機関と連携して、県民の生命、身体、財産を保護することが県の責務。定期的に国民保護訓練を実施しており、R4年度は燕市、魚沼市と連携し、大規模テロを想定した図上訓練を実施する。

常任委員会における小泉勝の提言

空港や港湾でのリスク、サイバー攻撃への備え、県や関係機関におけるネットセキュリティの強化が重要であり、しっかりと準備していただきたい。

県民の反ロシア感情から県内在住のロシア系の住民に対する心無い差別的な言動も懸念されるため、予防啓発への対応にも配慮していただきたい。

小泉 勝

新潟県議会議員
県民の暮らしを守る!

TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078 Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp 〒954-0046新潟県見附市双葉町2-4 小泉勝事務所

佐渡島の金山



ユネスコ世界文化遺産登録に向けて

「佐渡島(さど)の金山」が、ユネスコ世界文化遺産の国内候補として推薦が行われたが、ゴールはあくまでも登録実現であり、これからの本番。オール新潟、オールジャパンでの取組が必要。

(県議会一般質問 小泉 勝の発言)

世界遺産登録に向けた現状と今後のスケジュール

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 令和4年2月1日 | 閣議了解、同日政府がユネスコに推薦書を提出 |
| 令和4年秋頃 | ユネスコから依頼された諮問機関イコモスが、専門的見地から現地調査を行う。 |
| 令和5年4～6月頃 | イコモスによる専門調査に基づく勧告 |
| 令和5年6～7月頃 | イコモスの審査結果を踏まえ、ユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決定。 |

新潟県議会インターネット中継

※録画中継は、その会議の会議録がホームページで公開されるまでの配信です。

一般質問 ▶



会議録の
検索と閲覧 ▶



●小泉勝「県政レポート」は見附市内に新聞折込などでお届けしています。ご近所、お知り合いでご覧になっていない方がおられましたら、お届けいたしますので小泉事務所にお知らせください。

県議会 一般質問

(R4年3月2日) 小泉 勝の主な質問

質問 小泉

幅広いスポーツ振興を

アーバンスポーツを安全に楽しむことができ、若者たちが集まれる魅力的な居場所づくりとしての環境整備を図るとともに、アーバンスポーツの推進を県としても強く後押しをすべき。

答弁 知事

鳥屋野潟公園内に初心者でも安全に楽しめるスケートボードパークを整備する。競技スポーツ推進のため、競技力の向上にも取り組んでおり、アーバンスポーツについても推進していきたい。

質問 小泉

特別支援学校卒業生の雇用を

特別支援学校の卒業生について、現在、教員補助員としての配置事業を行っているが、本事業による雇用の現状と成果について伺う。

答弁 教育長

R3年度、県立特別支援学校に業務補助員として20人の特別支援学校卒業生を雇用。卒業生は就労を実現するとともに、在校生は、卒業生の働いている姿を見ることにより、就労への刺激を受けている。

質問 小泉

コロナ禍において生活支援団体の支援を

食品の値上げが家計に大きな負担となっているが、とりわけコロナ禍において所得減少の影響を受けるのは、相対的に所得水準の低い世帯と言われており、特にひとり親家庭や生活困窮者等は日々の暮らしが厳しくなっている。県内でも子ども食堂やフードバンク等、民間が支援する取組が相当数増えてきているが、このような取組に対する支援の現状について伺う。

答弁 福祉保健部長

フードバンクについては、取組への協力を呼び掛けるとともに、設備整備への支援に取り組んでいる。子ども食堂についても、民間企業等と連携し、継続的に県民や企業からの支援を受けられる仕組みの構築に取り組んでいる。さらにR4年度は、これらの取組に加え、こども居場所支援コーディネーターを配置し、相談支援や優良事例の紹介など、支援強化を図っていく。

質問 小泉

ワクチン接種の正しい情報を

多くの保護者の方から副反応や健康リスクに対する情報が欲しいと聞いており、ワクチン接種のメリットやデメリットなどを県民へ丁寧に伝え、保護者が正しい情報をもとに自らの意思で選択できる環境の構築が必要だが、知事の所見を伺う。

答弁 知事

国や専門家が作成した資料など様々な媒体を通じて情報提供するなど、子どもと保護者が接種について検討し、適切に判断できるように対応していく。

質問 小泉

中学生のスポーツの活性化を

総合型地域クラブでの大会参加や競技の違いによる扱いなどが今後どのようなようになるのか等、部活動改革により今後の大会参加のあり方について、大会を主催する中体連等に対して、県としても働きかけを行っていく必要があると考えるが、所見を伺う。

答弁 教育長

大会参加ルールの見直しが必要になると認識している。「新潟県部活動改革検討委員会」においても課題として指摘されているため、県中体連に検討を依頼している。スポーツ庁においても、今後の大会のあり方等を検討するとしている。

質問 小泉

ゼロエネルギーハウスの促進を

令和3年9月定例会の一般質問で、「大幅な省エネルギーを図り、ヒートショック対策にもつながる取組である」ZEH(ゼッチ)・ゼロエネルギーハウスの建設を強く推進すべきで、県独自の補助の必要性を訴え質問した。その時の知事の答弁では「カーボンゼロ実現戦略プロジェクトチームにおいて、雪国型ゼロエネルギーハウスの在り方や、具体的な支援策について検討し、促進していきたい。」とのことであったが、今後の取組方針について伺う。

答弁 知事

ZEH(ゼッチ)基準を超える「雪国型ZEH」を住宅の供給側から普及するとともに、先駆的な取り組みを行う市長村をパッケージで支援していく。

◆その他の質問

県内の障がい者雇用促進 ○地震対策を関係する各自治体との取組強化 ○食品の価格上昇の機会を捉えコメの消費拡大 SDGs推進のため環境教育の充実 等